

# 新幹線プレス

2012年4月18日 No.38

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

## やはり浜岡原発はいらない！ 浜岡平和研修開催！

4月15日、JR東海労新幹線地本は、32名の組合員・家族・OBが参加し、浜岡平和研修を行いました。研修では移動中のバスの中で、DVD「浜岡原子力発電所」を鑑賞し、その後「浜岡原発PR館」を、地本執行委員の案内で見学し、浜岡原発の歴史、構造などを学びました。また、浜岡原発を「PR館」の展望台から見学をし、海岸沿いに立つ原発の恐ろしさを実感しました。



また、寺田伊勢男氏（元静岡県議、静岡9条連相談役）より「浜岡原子力発電所とそれにかかわるあれこれ」と題した講演を受けました。寺田氏は「浜岡原発は近くに断層があり非常に危険な場所に立地されている」「1、2号機は現在停止中だが燃料棒は注入されていて常に冷却をしなければならない状況にある」「福島原発は地震か津波で電源が機能しなくなり冷却不能となった。浜岡原発は高台に電源があり大丈夫と言っているが、21mの津波が来るといわれている。18mの防潮堤をつくっているが不安がある」「静岡県内の多くの市・町で原発の廃炉や永久停止を求める、意見書や決議が出されている」「電力不足がいわれ原発の再稼動が言われているが、水力、風力、地熱などの活用、電力会社間で電力の共有などをしていけば電力不足にはならないと思う」などが講演の中で話されました。



## 全ての原発の再稼動反対し原発の廃炉を求めよう！

浜岡原発は、新幹線の20キロ圏内に立地されています。浜岡原発が事故を起こせば新幹線も甚大な被害が予想されます。JR東海労新幹線地本は、浜岡原発をはじめ全ての原発を廃炉にする取り組みを進めます。

政府は、大飯原発の再稼動を決め福井県知事、おおい町長などに理解を求めています。原発は、事故が起きればどうなるのか福島原発が物語っています。原発の安全神話が崩壊した今、全ての原発の再稼動を認めることは許されません。JR新幹線地本は、平和を希求する観点からも反原発の取り組みをさらに進めていきます。